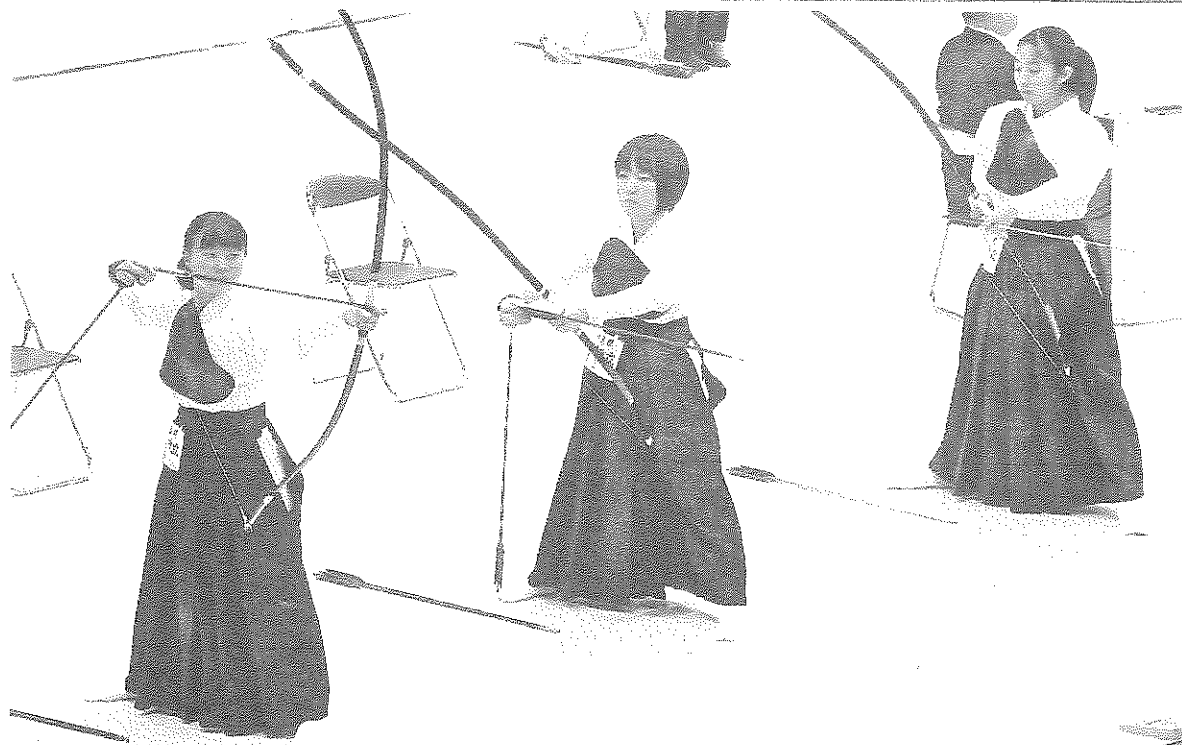


徳島市立女子5位



弓道

全国高校選抜大会

弓道の第37回全国高校選抜大会最終日は26日、岡山市のジッパリーナ

岡山市で男女各16校による団体決勝トーナメントが行われ、女子の徳島市立(竹花胡々、武市裕子、島津沙也花)が5位入賞を果たした。

徳島市立は1回戦で前回優勝の作新学院(栃山山口)に

木)に10-9で競り勝ち、準決勝進出を懸けた2回戦で宇部フロンティア大付香川(山口)に6

△徳島市立 10-9

1回戦(12射)

△2回戦

宇部フロンティア大付香川

山山口

4強目前で競り負け

3年ぶりの女王の座を目指した徳島市立は4強入り目前で敗れた。5位入賞の結果に選手たちは「予選を突破できたのは良かったけど、もっと勝ちたかった」と、その表情には安堵(あんど)と悔しさが入り交じった。

決勝トーナメント1回戦は強敵・作新学院を相手に

女子団体2回戦で弓を射る徳島市立の(左から)竹花、武市、島津

ジッパリーナ岡山市(県高体連弓道専門部提供)

17で惜敗した。徳島市立・岡本志織主将



将 緊張感の中で、もろろ着いてい

が最後まで粘り、1回戦では悪い流れを止める射的もできた。負けただけど徳島のレベルの高さは見せられたと思う。

▽決勝 祐誠(福岡)11-7大垣高(岐阜)祐誠は10大会ぶりの度目の優勝。

【男子】団体決勝トーナメント決勝(12射)東北学院(宮城)11-8高知

東北学院は初優勝。

手に平常心を貫き、ここ一番で勝負強さを発揮した。前半で二本差をつけられても、今大会で初の大前を務めた竹花は「気持ちで負けないことだけを考えていた」。集中力を高めた後半は、全員が残りの6本全てを当てて逆転。中立ちの武市は「無心で弓を引くことができた」と振り返った。

このまま勢いに乗るかと思われたが「1回戦で激戦を制した分、少し気持ちがゆったりとしてしまった」と平野監督。良

い緊張感を保てないまま2回戦を迎えたことで思うような射的ができずに競り負けた。だが、今回がゴールではない。皆中の活躍を見せた落ちの島津は「普段から8中以上を目指している。でも負けた試合は6中。そこを越えられたいチームになる」ときっぱり。2年生の竹花、武市も「仲間を不安にさせないような射を心掛ける」と、最終目標の全国総体制覇へ決意を新たに

(佐々木基善)